



中山神社のひな祭り飾りで使う「繭玉」を、通所リハビリとシャキシャキクラブの皆さんに作業療法の一環として製作して頂きました。色とりどりの繭玉がとてもキレイです。中山神社に飾られるのが楽しみです。



通所リハビリでは寺子屋の工作授業で雛飾りを製作しました。瓶に重しを入れ、紙粘土で頭を作り、着物を着せたり髪飾りを付けたり細かく難しい作業もありましたが、可愛い三段飾りの出来上がりです。ロビーに飾っていますが、面会中止のため皆さんにご覧いただけなくて残念です。



立春も過ぎてそろそろ菜園の準備をする時期になりました。今年はじゃがいもの植え付けからスタートです。グループホームと通所リハビリの皆さんで種芋を均等に切って、2,3日乾かしてから収穫の日を楽しみに植え付けをしました。じゃがいもはおよそ100日で収穫できるそうです。6月号あたりで収穫の様子をお伝えできそうですね。

随 ずっくらばし

私は喫茶店巡りが好きで、コロナ禍以前はSNSでチェックしてよく行っていました。お目当ての1つはクリームソーダ。お店のメニューにあれば必ず頼むくらい好きで、自分の中で思い描く理想のクリームソーダがあるほどです。お店によってタイプがそれぞれ異なるので、毎回新鮮で楽しく、つつい注文してしまいます。理想のクリームソーダには条件がいくつかありますが、今回はその中から3つ条件をご紹介します。1つ目は、ストローは赤いストライプの太目のものであることです。赤いストライプは上に乗っているさくらんぼと相性抜群です。また、アイスを溶かしながら飲むので細いストローだとアイスが混ざった部分が吸えず、見た目と機能面を兼ね備えた赤い太めストライプのストローが理想の条件の1つ目となります。2つ目はアイスは半球形のまん丸なバニラアイスであることです。今まで飲んできた中にはソフトク

せいひ会の職員が思うがままをリレー式に綴るコーナー。今月は元亀の里管理栄養士の柳井愛さんです。

リーム、シャーベットなどいろいろありましたが、昔ながらの半球形のまんまるなバニラアイスがレトロで可愛らしく理想的です。3つ目はさくらんぼです。引きで見た時にさくらんぼが占める割合は全体の1割くらいですが、その鮮やかな赤がアクセントカラーとなり、可愛さを引き立ててくれます。イチゴやラズベリーなど赤い果物は他にもありますが、やはりクリームソーダにはさくらんぼ。そのツヤっとして真ん丸な見た目とバニラアイスの相性には敵いません。コロナ禍で喫茶店巡りが出来なくなり、家で作るようになりましたが、メロンソーダにアイスを乗せる工程はなかなか複雑で、まだ理想のクリームソーダを作ること出来ていません。早くコロナが落ち着いて以前のように喫茶店で飲みたいと思い、今は行きたい喫茶店リストを作成中です。みなさんも夢中になれるものを探してみたいかがでしょうか。



せいひ会だより

2022年(令和4年)
3月1日発行
＜第263号＞
社会福祉法人せいひ会
<http://www.seihikai.jp/>



2月3日節分。色んな鬼がやってきました。今年は、通所介護の利用者様が作製した、大きな緑色の鬼の顔が素晴らしかったと思います。元亀の里では、鬼の寸劇に大笑いし、風和の里では、鬼の玉投げゲームを楽しみました。寿限無の利用者の中には、節分の口上を覚えていて、すらすらと言葉が出てくるのに驚きました。コロナでの面会制限のストレスか、皆さん、思いっきり豆（の代用物）を鬼めがけて投げていました。昔はまいた豆を煎って食べた話などしながら、最後はまいたチョコレートや甘納豆を美味しく頂きました。

2月の行事

3日 節分（寿限無/通介/GH）
4・5・7日 誕生会(通介)



3月の行事予定

3日 ひな祭り (GH/通介/寿限無)
5日 誕生会 (通介)
9日 運営推進会議 (通介)
中旬 花見 (通りハ/風和)





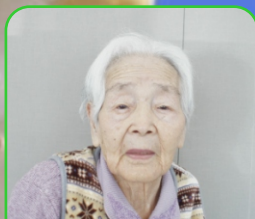
寿限無
江口連子様



寿限無
松田君子様



元亀の里
井手ソミ様



元亀の里
岡野リソ様



元亀の里
谷内ウタ子様



元亀の里
山本敬子様



元亀の里
楠本サイ子様

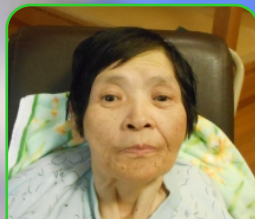


風和の里
原川キノ様

お誕生日おめでとう



風和の里
田中サヤ様



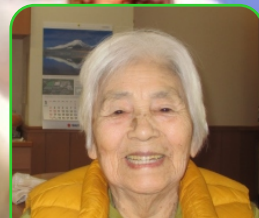
風和の里
坂田千鶴子様



グループホーム
村山壽美様



グループホーム
谷本嘉市様



風和の里
上野マスエ様



丘の家
森正生様



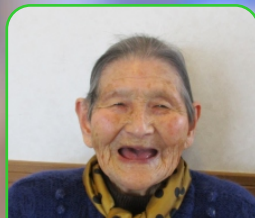
丘の家
金子まし子様



丘の家
松永久子様



通所介護
千草土由様



通所介護
志田エン様



通所介護
大久保三枝子様



通所介護
川口昭二様



グループホーム共同作品



通所介護共同作品



通所りハビリ



通所りハビリ

LIFE
IS
A WORK
OF
ART
今月の作品紹介です。



通所介護
志田早苗様

バスデーインタビュー

昭和13年2月21日佐世保市白南風町3人兄弟の末っ子として生まれ、県庁職員の父親からとても可愛がられていたそうです。小学4年生の時に実母が亡くなり、洋裁の先生をしていた継母には厳しく育てられたとのこと。佐世保南高に入学、ダンス部に入り、卒業後は西肥バスのバスガイドに就職、ミス佐世保にも選ばれたそうです。バスガイドで祐徳院を案内した際にご主人と出会い、その時の印象は身体が大きく目立っていたとのことでした。真珠養殖をしていたご主人と結婚し、3人の子供を育てながら従業員と一緒に真珠の玉入れ作業、加工した真珠の装飾品を持ち回り販売員をしていたそうです。身体を動かすことが大好きということで、地元のバレークラブやコーラスに入っていたそうです。現在デイサービスでも美しい声で唄われています。またレクリエーションのボールゲームではボールの投げ方がおかしかったら「精神のよがんどる」など冗談を交え周囲を和ませています。日付・天気の確認を利用者と口をそろえていう際に「心も晴れ」とユーモアを交えて付け加えて声を出してくれます。色々な経験をされた早苗さんに若さと美しい声を出す秘訣を伺うと、真珠の販売で培った「その人その人に合わせて話すこと」「ビールを飲むこと」笑いながら話して下さいました。

職員紹介



中村綾子

2021年から風和の里に勤務しています。中村綾子と申します。甘いものが大好きで、新作のスイーツを見てしまったらついつい買ってしまう。甘いものを食べている時が1番幸せです。1日が楽しく過ごせること、1人ひとりの個性を理解し1人ひとりに寄り添った支援が出来るように努力していきます。まだまだ未熟ですが、一生懸命頑張ります。